



— ふ ぐ る ま —

図書館だより 179号

(2013. 2. 1)

三郷町立図書館

三郷町勢野西1-4-4

TEL/0745(33)3030

FAX/0745(33)3188

<http://www.lib.sango.nara.jp/>

携帯電話 <http://www.lib.sango.nara.jp/mobile>



古典を読もう

古典はなかなかとつきにくい印象があります。ドイツの哲学者ニーチェは「古い本を読むことで、わたしたちは今の時代から大きく遠ざかる。まったく見知らぬ外国の世界に行くこともできる。そうして現実に戻ったとき、何が起こるか。現代の全体の姿が今までよりも鮮明に見えるのだ。こうしてわたしたちは、新しい視点を持ち、新しい仕方現代にアプローチできるようになる。行き詰まったときの古典は、知性への特効薬だ。」(『人間的な、あまりに人間的な』より)と述べています。今年には古典に挑戦するのもいいですね。

🌸特別整理休館と特別貸出のお知らせ🌸

図書館資料の一斉点検のため、2月18日(月)から24日(日)まで休館します。このため、2月5日(火)から17日(日)までに資料を借りたときは貸出期間を延長しますので、ぜひご利用ください。

- ◆図書資料 2月 5日(火) 貸出分から・・・3週間貸出
- ◆視聴覚資料 2月12日(火) 貸出分から・・・2週間貸出

図書館カレンダー

2月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

【休館日】・毎週水曜日

- ・2月 4日(月) 一館内整理日
- ・2月 11日(月) 一建国記念の日
- ・2月 18日(月)～24日(日) 一特別整理休館
- ・3月 4日(月) 一館内整理日
- ・3月 21日(木) 一20日春分の日の振替休館

エッセイ・随筆に親しむ

— 2月28日はエッセイ記念日 —

エッセイストの先駆者とされる
ミッシェル・ド・モンテーニュの誕生日。
1553年2月28日にちなんで、木村
治美エッセイストグループが制定。

小説、エッセイ・随筆、日記、手紙などあらゆる読物が出版されている中で、エッセイ・随筆の本を手にとられたことはありませんか。読む人の心をとらえ、楽しませてくれるその魅力にせまってみましょう。

エッセイと随筆



【エッセイ】

元はフランスのミッシェル・ド・モンテーニュが著した『エッセー』に始まります。この本は人間の生きる意味についての模索「エッセー（ためし）」が実践され、問題を前に苦悩する読者に新たに生きる糧を与えています。（『モンテーニュ』より）エッセイは心のありようを書いたもので、複雑でありながら人の豊かな心を知ることができ感動に触れ感動を分かち合えること、人は常にものを考え感じ、泣いたり笑ったりという感情豊かな生きものであるということを教えてくれる真実を描いた文学なのです。

【随筆】

日本に随筆という名を持つ書物ができたのはおそらく平安時代に書かれた清少納言の『枕草子』に始まります。この本は日常生活や自然についての感想を綴ったもので、明るく理知的な精神をその作品に貫いています。（『インターネット・古典に親しむ』より）随筆は本当にあった出来事を筆の赴くままに書いたもので、その出来事を知る人にとって面白いだけではなく、知識や情報、教訓となり日々の暮らしや仕事に役立つ事実に基づく実用の文学なのです。



読むことから気づきや学びが生まれます。また、複数の著者で構成されている本も、好みの作品に出合うきっかけ作りになるかもしれません。

エッセイ・随筆について

読みたくなったらこの本をどうぞ。

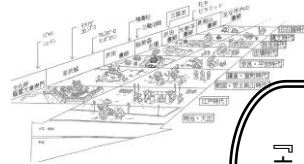
『モンテーニュ』	S954.5 ア	荒木 昭太郎
『エッセー』1～6	B954.5 モ	モンテーニュ
『随筆とは何か―鑑賞と作法―』	901.4 ヨ	吉田 精一
『清少納言』	910.23 ハ	萩野 敦子
『枕草子』岩波セミナーブックス	914.3 ワ	渡辺 実
『人生の教科書』	914.6 ナ	なかにし 礼
『あたらしいあたりまえ―暮らしの中の発見ノート2』	914.6 マ	松浦 弥太郎
『独女日記』	914.6 ト	藤堂 志津子
『犬と私』	914.6 エ	江藤 淳
『「あの日」からぼくが考えている「正しさ」について』	914.6 タ	高橋 源一郎
『何のために生きるのか』	914.6 イ	稲盛 和夫・五木 寛之
『いまも君をおもう』	914.6 カ	川本 三郎
『ベスト・エッセイ』 2002～2011	914.68 ニ	日本文芸家協会・編
『言葉ふる森―作家による「山」のエッセイ・紀行30編』	914.68 コ	山と溪谷社/編

エッセイ・随筆の書き方

人生を重ねてきた中で、その人にしか書けないものがエッセイ・随筆だとしたらぜひ、書いてみませんか。

書き出すための参考にこの本をどうぞ。

『エッセイ脳』	901.4 キ	岸本 葉子
『勝つ文章技術』	816 ア	有坪 民雄
『エッセー・随筆の本格的な書き方』	901 イ	井上 俊夫
『エッセイを書きたいあなたに』	B901.4 キ	木村 治美
『エッセイの書き方』	901.4 エ	日本エッセイスト・クラブ/編



【エッセイの効き目】

物事の見方、人の心の動きへの深い洞察力が養われる。自分自身の成長を確信できる。年齢を重ねるほどに味が出る。年齢は強い味方。

『六十代からのエッセイ教室』より

2月の行事予定



♣おはなし会♣

(毎週日曜日におはなしルームで行います)
今月は3日・10日・17日です。



小さい子ども向けのおはなし—午前10時30分～10時50分

大きい子ども向けのおはなし—午前11時～11時30分



♣土曜の午後のおはなし会♣

2月16日(土) 午後2時よりおはなしルームで行います。

♣図書館上映会♣



(毎週土曜日 午後2時より視聴覚室で行ないます)

2日(土)「五番町夕霧楼」(1963年 137分)

監督：田坂 具隆 出演：佐久間 良子・河原崎 長一郎

9日(土)「我が道を往く」(1944年 130分)

監督：レオ・マッケリー 出演：ビング・クロスビー

16日(土)「長屋紳士録」(1947年 72分)

監督：小津 安二郎 出演：飯田 蝶子・小沢 栄太郎

♣生涯学習室開室のお知らせ♣



期間：毎週土曜日・日曜日

2月25日(月)・26日(火)・28日(木)

時間：午前9時30分～閉館30分前まで

対象：町内在住の方(ご利用前にカウンターに利用カードをお持ちください)